

新茶の季節になりました。新茶は渋みや苦みが少なく、旨みが多い、若葉のようなさわやかな香りのあるお茶です。きびしい冬をこえ、栄養を十分に蓄えたお茶が収穫の時期を迎え、町内の茶畑が最も活気づく時期です。



PICK UP CONTENTS

P 2 [特集]
第3回牧野公園写真コンテスト

P 4 機構改編・職員異動

P 6 子育て・健康応援ページ

P 9 高北病院

P 10 おしらせ

P 17 青山文庫だより & 文芸

P 18 さかわ観光協会

P 19 さかわ発明ラボ

P 20 としょかんだより

P 21 学校だより-佐川高等学校-

P 24 新型コロナウイルスワクチン予防接種



町長賞

「物見岩からの夜桜見物」

田中 一郎

寸評：撮影しづらい夜桜をうまくとらえている。真っ白になりがちな花の色のトーンもよく表現できている。街並みや山なみが写る日没後の時間を狙って撮影し、そのことで情緒あふれる作品に仕上がっている。



素衛子賞

「なごり雪」 原田 清

寸評：写真の技術力が素晴らしい。また、桜と雪という貴重なタイムリグを逃さずとらえていることも高評価。見せたい桜に焦点をあわせ、スローシャッターで周りに雪をうまくあしらっている。

富太郎賞「嬉しい春の予感」 永田 みゆき

寸評：春の期待感、新学期を迎える不安感、少女の心情をよくとらえている。構図もよい。偶然に出会った少女とこのことだが、瞬間を切り取る写真ならではの楽しさが伝わってくる作品。



牧野公園賞

「春の妖精」 矢野 亜弥(左)

寸評：木漏れ日をうまく利用し、花を強調。左の伸びた種がとても良いアクセントに。

「眺めを競う物見岩」 林 正男(下)

寸評：桜、物見岩、人々を面白い構図にまとめあげている。



「牧野公園の魅力がにじむ
ストーリー性に富んだ入賞作品」
(審査委員長 反田浩昭)



牧野富太郎博士生誕記念イベントの一環として「牧野公園写真コンテスト(主催：牧野富太郎博士生誕祭実行委員会)」が開催されました。四季の牧野公園の魅力や、好きな牧野公園の1コマなど、町内外から88点の応募がありました。それらの作品は、4月17日から5月5日にかけて、牧野公園花見棟にて展示されています。